

## 沖縄伊是名集落における石垣築造と教学本作成に関する気づきについて その3

日大生産工  
日大生産工

○佐野 亜澄  
篠崎 健一

日大生産工（院）  
東京理科大学

関口 裕  
藤井 晴行

その1、その2のデータシートである。

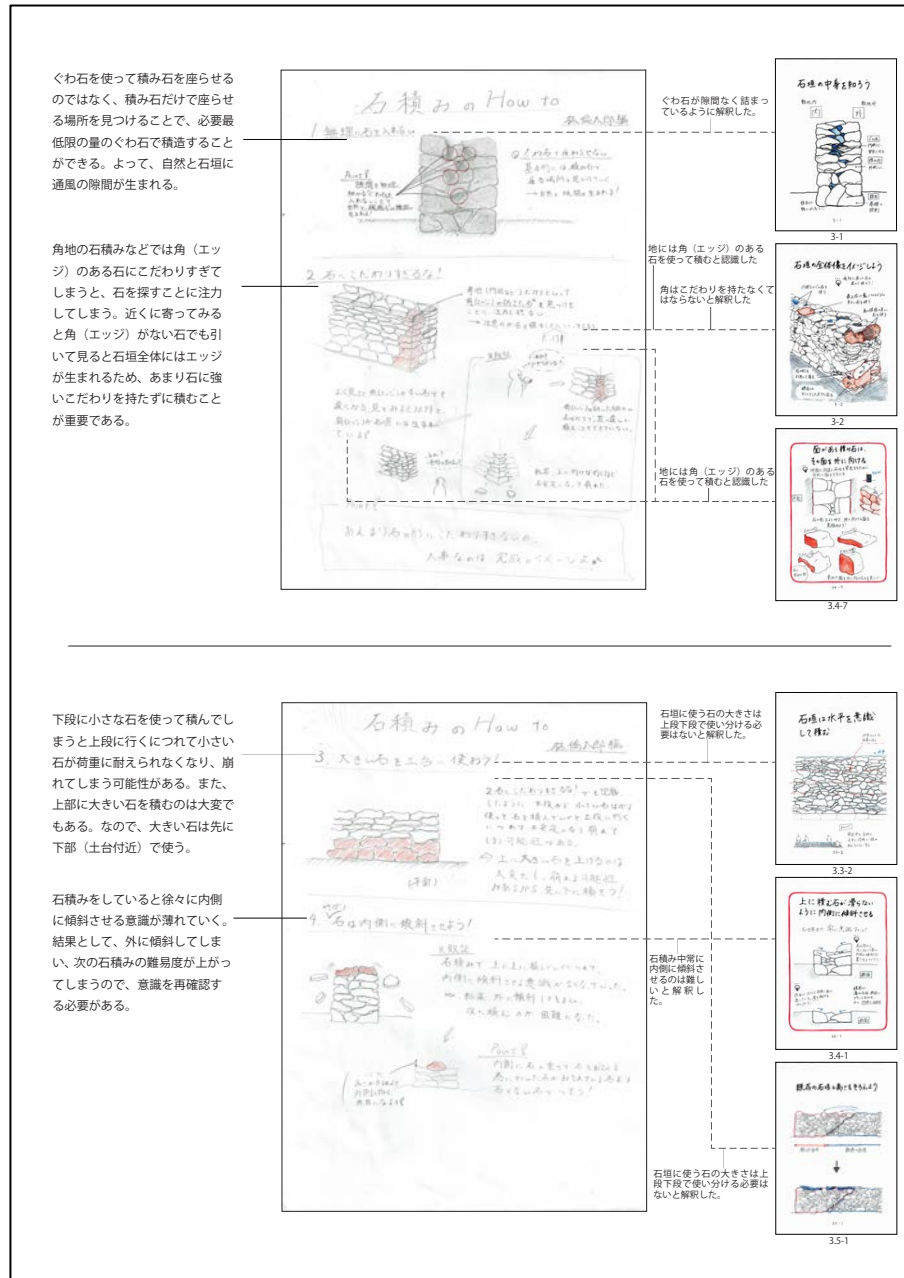


Fig.4 教学本からの解釈と実行・林編

# Reflection on Coral Stone Fences Construction and the Development of Educational Materials in Izenā Village, Okinawa:Part III

Asumi SANO ,Yutaka SEKIGUCHI  
Kenichi SHINOZAKI , Haruyuki FJII

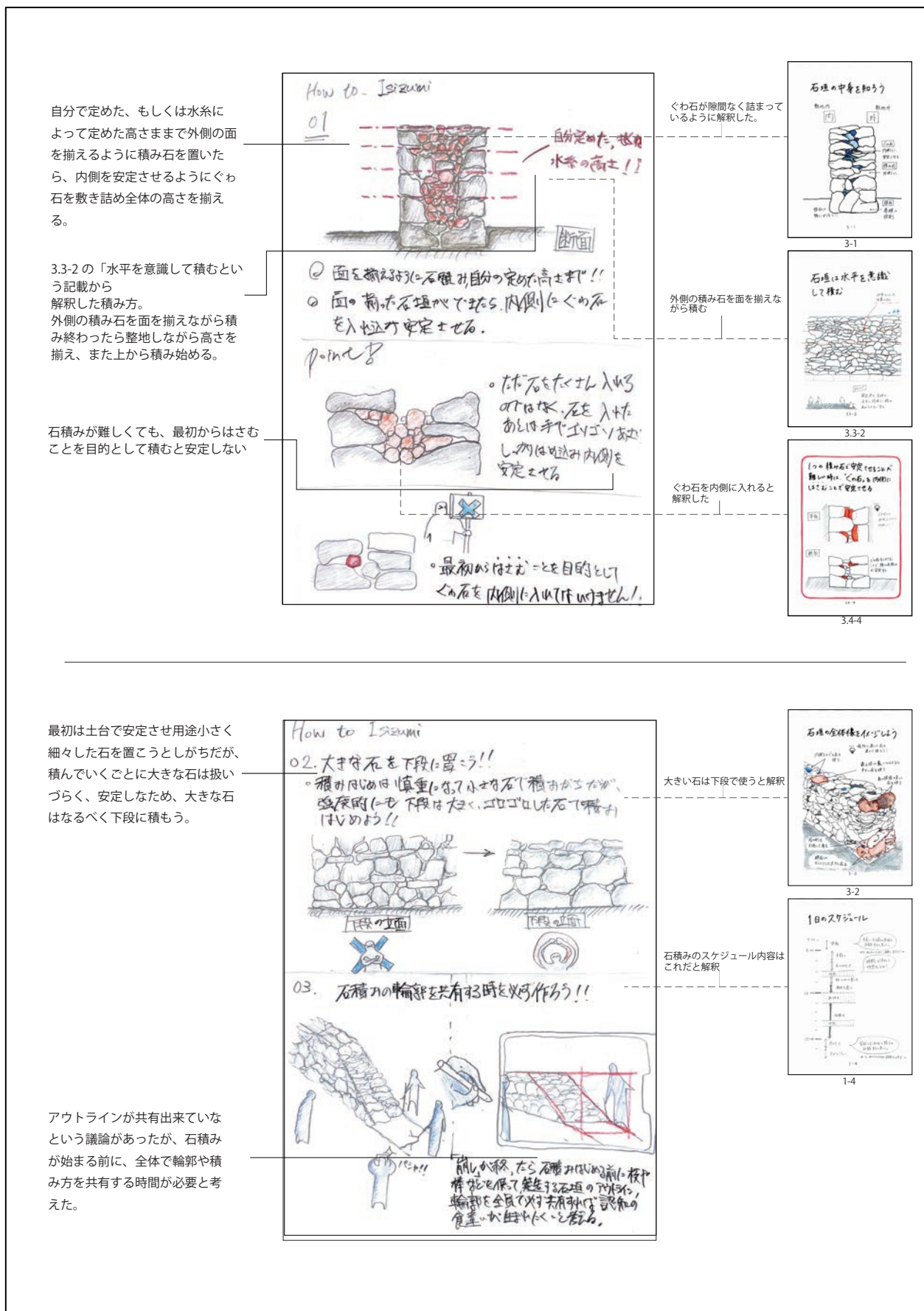


Fig.5 教学本からの解釈と実行-前後編-

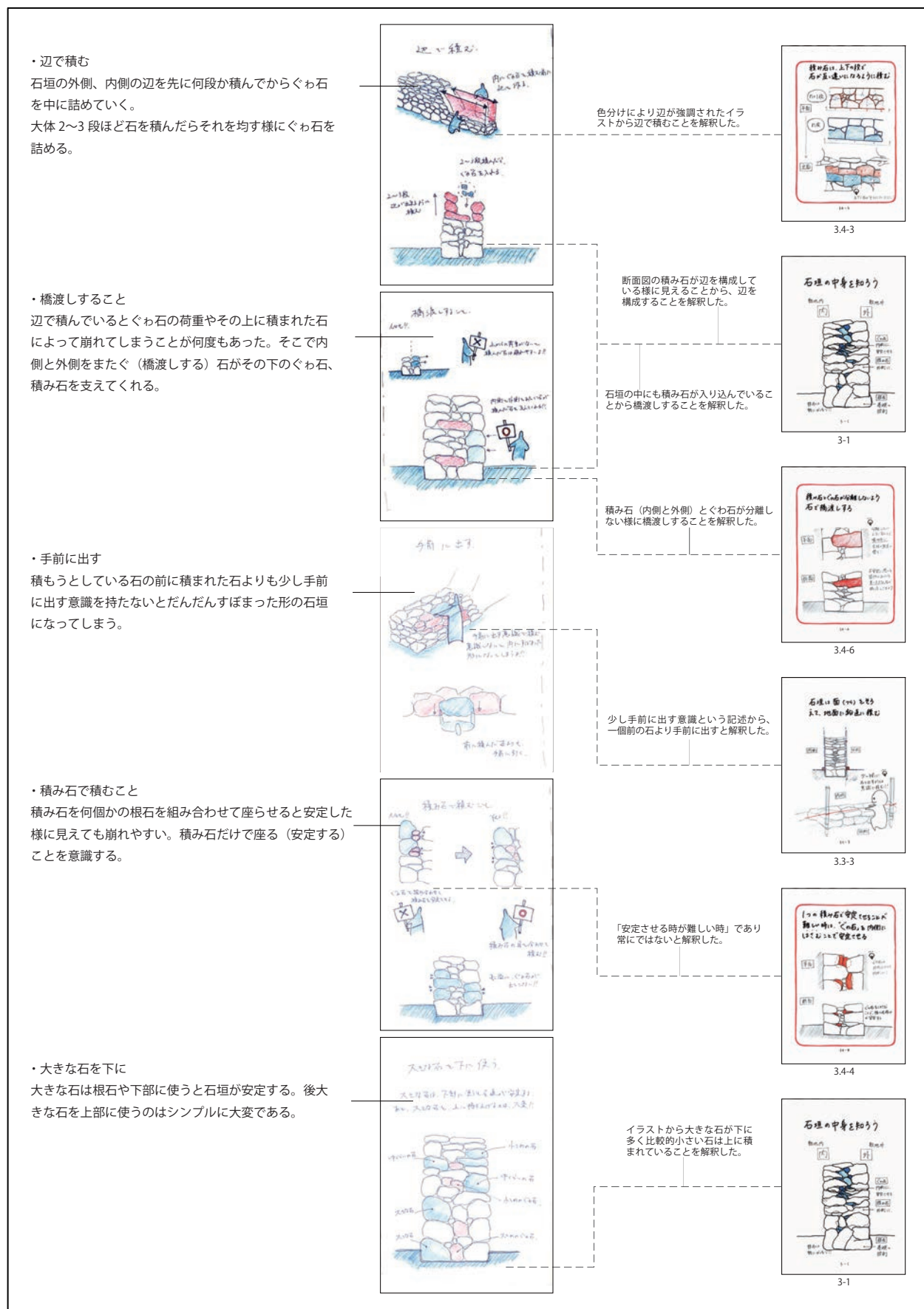
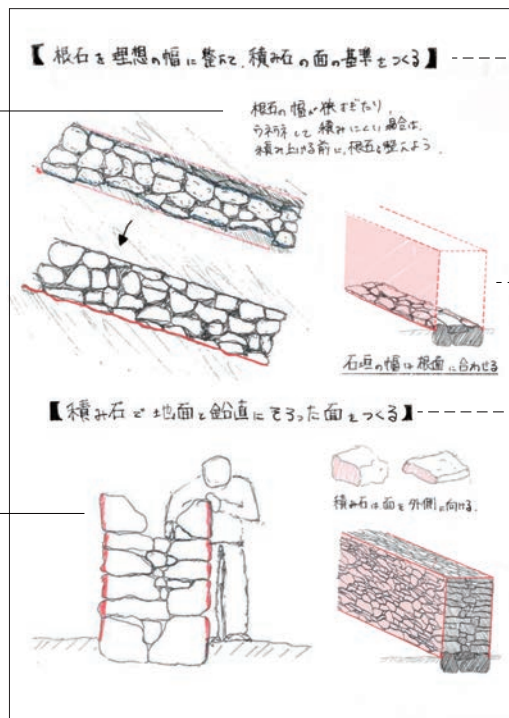


Fig.6 教学本からの解釈と実行・西山編・

根石の幅が狭すぎたり、ウネウネ波打っていたりする場合は、積み石を積む前に、根石を理想の幅に整える。根石よりも積み石が外側に出てしまうと、荷重が外に逃げてしまい不安定になるため、積み石で修正しようとせず、根石を整えることが大事である。

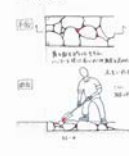
根石の幅を維持することを意識して、積み石で地面と鉛直にそろった面をつくる。



根切りをするときにだけ、根石を動かせると理解した。

面をそろえることで、地面に鉛直に積まれた美しい石垣ができるかと理解した。

根石もよい種、安定させるために隙間を空ける



3.2-4



3.2-7

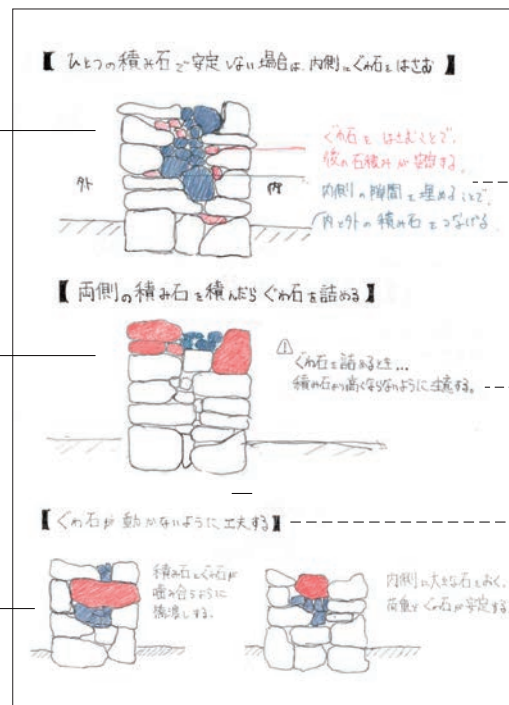


3.3-3

ひとつの積み石で安定しない場合は、積み石を面のそろった理想の状態にしてから、内側の隙間に合ったぐわ石をささむことで、積み石を安定させる。

珊瑚石は長い時間をかけて変形することがあるため、大きな空洞があると崩れる恐れがある。そのため、両側の積み石を積んだら、内側の隙間はぐわ石で埋めて、次の積み石を支える土台をつくる。

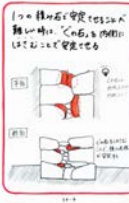
ぐわ石が積み重なりと不安定になるため、時々大きな石で荷重をかけたり、積み石と噛み合わせることで、石垣が一体となって強度が高まる。



石垣の内側の隙間を満遍なくぐわ石で埋めていることから、ぐわ石を隙間に詰めると理解した。

積み石の荷重が内側にかかるように、上面を内側に傾斜させると理解した。

大きな石の荷重で安定させる技術があると理解した。



3.4-4



3.4-1



3.4-5

Fig.7 教学本からの解釈と実行-深井編-